

Vonage、ガートナー社のマジック・クアドラント Communications Platform as a Service (CPaaS) 部門で リーダーとして位置付け

Ericsson (NASDAQ:ERIC) の子会社であり、クラウドコミュニケーションのグローバルリーダーである Vonage Holdings Corp. (ボネージ) の日本法人、Vonage Japan 合同会社（本社：東京都中央区、マネージングディレクター：西村 哲郎、以下「Vonage」）は、Communications Platform as a Service (CPaaS) 部門における、ガートナー社のマジック・クアドラントで「リーダー」として選出されたことを発表しました。今回、Vonageの「実行能力」と「ビジョンの完全性」が評価され、「リーダー・クアドラント」に記載されました。

Vonage CEO 兼 Ericsson のグローバルコミュニケーションプラットフォーム事業エリア責任者、SVP の Rory Read (ローリー・リード) は、次のように述べています。

「今日、クラウドコミュニケーションにおける変革の時代が到来しており、企業がこうしたテクノロジーをどのように活用するかが問われています。消費者は今、消費者間、並びに企業との間で、柔軟でインテリジェントなコミュニケーションを期待しています。場所を問わず、あらゆるチャネルでコミュニケーションができることは、重要な差別化要因であり、企業と顧客の間でのコミュニケーションが一段上のレベルに向かいつつあり、CPaaS としてコミュニケーション API がそれを可能にします。」

さらにリードは以下のように続けています。

「Vonage の CPaaS 機能と強力な開発者リソースにより、企業はアプリケーション、システム、ワークフローにコミュニケーションを組み込むことが可能となり、これにより顧客はそれぞれの好みで、より深いエンゲージメントを実現し、カスタマーエクスペリエンス全般を向上させることができます。また、私たちはビジネスコミュニケーションの将来を見据え、グローバルネットワークプラットフォームを構築し、ネットワーク機能を API として公開することで、5G ネットワークの特長を引き出し、開発者が API を活用することにより、企業やその顧客に向けた新しい革新的なユースケースが創出されるように注力しています。ガートナー社の CPaaS マジック・クアドラントにおいて、Vonage のプラットフォームとビジョンがリーダーとして評価されたことを光栄に思います。」

この CPaaS マジック・クアドラントにおいて、ガートナー社では、イノベーション、市場に対する理解、垂直／産業戦略を含む「ビジョンの完全性」評価基準に基づいてベンダーを評価しています。

[Vonage AI Acceleration Suite \(英語\)](#) など、Vonage コミュニケーションプラットフォーム向けのプログラミングが可能なコンポーネントは、新しいアプリケーションを構築するための簡素化されたアプローチを用いることで、業務効率の改善、カスタマーエクスペリエンスの向上、そしてカスタマーエンゲージメントの強化に役立ちます。また、[Vonage AI Studio](#) を活用することにより、開発者と非開発者は Vonage コミュニケーションプラットフォームを用いて、AI を活用した会話型ワークフローにより、チャンネルを横断して顧客とコミュニケーションができるようになります。

Vonage は、クラウドコミュニケーション分野における CPaaS、Unified Communications as a Service (UCaaS)、Contact Center as a Service (CCaaS) の 3 つのマジックク・アドラントレポートのすべてにおいて認められた 2 つのベンダーのうちの 1 社です。Vonage CPaaS は、UCaaS、CCaaS、会話型コマースアプリケーションを含む Vonage コミュニケーションプラットフォーム (VCP) の一部です。

[Gartner Magic Quadrant for CPaaS \(英語\)](#)

免責事項

ガートナーは、その調査出版物に記載されているベンダー、製品、サービスを推奨するものではなく、また、テクノロジーユーザーに対して、最高評価またはその他の指定を受けたベンダーのみを選択するよう助言するものでもありません。ガートナーの調査出版物は、ガートナーの調査組織の見解で構成されており、事実の記述として解釈されるべきではありません。ガートナーは、本リサーチに関して、明示または黙示を問わず、商品性または特定目的への適合性を含む一切の保証を否認します。

GARTNER は、米国および／またはその他の国における Gartner Inc.および／またはその関連会社の登録商標およびサービスマークであり、Magic Quadrant は Gartner, Inc.および／またはその関連会社の登録商標であり、許可を得て使用しています。無断複写・転載を禁じます。

Gartner, Magic Quadrant for Communications Platform as a Service, By Lisa Unden-Farboud, etc., 18 September 2023

Gartner, Magic Quadrant for Unified Communications as a Service, Worldwide, By Rafael Benitez etc., 28 November 2022

Gartner, Magic Quadrant for Contact Center as a Service, By Drew Kraus, etc., 7 August 2023

【Vonage について】

Vonage はクラウドコミュニケーションのグローバルリーダーであり、企業のデジタルトランス

フォーメーションの加速を支援しています。Vonageのコミュニケーションプラットフォームはプログラミングが可能で、ビデオ、音声、チャット、メッセージング、AI、認証の各機能を既存の製品、ワークフロー、システムと連携させることができます。会話型コマースアプリケーションでは、AIを活用したオムニチャネルエクスペリエンスを提供し、売上と顧客満足度の向上を実現します。また、プログラマブルなユニファイドコミュニケーション、コンタクトセンターおよび会話型コマースの各アプリケーションは、Vonageプラットフォームで構築されており、オフィスなど場所を問わず、企業におけるコミュニケーション方法や運用方法を変革し、優れた柔軟性とビジネス継続性を提供しています。

VonageはEricssonの100%子会社であり、米国ニュージャージー州に本社を置き、米国、欧州、イスラエル、アジアにオフィスを構えています。TwitterでVonageをフォローするには、www.twitter.com/vonageにアクセスしてください。Facebookのファンになるには、facebook.com/vonageにアクセスしてください。YouTubeでチャンネル登録するには、youtube.com/vonageにアクセスしてください。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ】

Vonage Japan 合同会社

〒104-0031

東京都中央区京橋 3-1-1 東京スクエアガーデン 14F

担当：グリーン 智美

Tel：03-6670-6930

Email：jp.marketing@vonage.com

Web：<https://www.vonagebusiness.jp/>